

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	女性の生き方に関する相談事業	所管	総合政策部 男女共同参画センターふらっと TEL 2921-2220
-----	----------------	----	---------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	男女共同参画社会の実現のために、その障害となる悩みや問題を解決する援助を行う。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢・入間・狭山・飯能市に在住・在勤・通学(法律は市内在住・在勤)し、 心配・悩み等を持つ人(主に女性)	対象とした数	695	人
		実際に 利用した数	695	人

活動の内容	(何を したか)	①電話相談:週3回、専用電話で直接電話を受ける。 ②法律相談:月1回、弁護士が相談を受ける。 ③カウンセリング:週1回、専門相談員が相談を受ける。事前予約が必要。 ④何でもききます相談(性別による権利侵害等に関する相談):週1回、専門相談員が相談を受ける。予約不要							
		活動実績	項目名	電話相談者数	465	項目名	カウンセリング相談者数	153	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,129	4,087	9,911	29.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	相談者の満足度	カウンセリングや何でもききます相談を利用した人への調査:「整理ができた」	85		%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	010200	2921-2220
事業コード	女性の生き方に関する相談事業	総政策部	男女共同参画センターふらっと	
010202		グループ	男女共同参画推進センターふらっと	
開始年度	平成 7 年度	→	終了年度	平成 年度

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	第2次所沢市男女共同参画計画			
関連・類似事業	所沢市男女共同参画推進条例・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律			
総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	4節 男女共同参画社会
			中柱	2 多様な生き方の選択支援
			小柱	(1)さまざまな活動へのチャレンジ支援
	H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 32 位		実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード 1111 市民の知りたい情報の提供			
	コード 1311	ユニバーサルデザインの推進		コード
事業開始の背景	平成7年度に女性センター(愛称:ふらっと)として設立され、女性のための「学習」「情報」「相談」「交流」の場として、さらに平成17年1月1日、所沢市男女共同参画推進条例の施行に伴い名称変更し、男女共同参画推進センターふらっととして、男女共同参画社会の実現のため、ふらっとの事業の1つとして実施された。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)
	男女共同参画社会の実現のために、その障害となる悩みや問題を解決する援助を行う。
	対象(誰を、何を対象としているのか)
	所沢・入間・狭山・飯能市に在住・在勤・通学(法律は市内在住・在勤)し、心配・悩み等を持つ人(主に女性)
	利用数の考え方
	実際の相談者数
	対象数 単位
	平成 18 年度 736 人
	平成 19 年度 695 人
	事業の具体的な内容及び実施方法
	①電話相談:週3回、専用電話で直接電話を受ける。 ②法律相談:月1回、弁護士が相談を受ける。 ③カウンセリング:週1回、専門相談員が相談を受ける。事前予約が必要。 ④何でもききます相談(性別による権利侵害等に関する相談):週1回、専門相談員が相談を受ける。予約不要

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点
	①相談事業の情報提供を行うため、相談カードを市内公共施設のトイレ等に設置するとともに、相談事業の案内及び予約状況を市ホームページに掲載し直近の予約情報の発信に努めた。②センターに寄せられた相談内容を反映させた講座を企画し、最も時世に即した女性の生き方に関する講座(アサーティブ・トレーニング)を実施するなど、総合的な相談業務を実施した。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		4,010	4,129	4,145
	決算(見込み含む)		4,027	4,087	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (1.25 人) (人) (1.25 人)			
	正規職員人件費	0.48 人	4,416	0.62 人	5,824
	公費費				
	事業費合計		8,443	9,911	
	財源内訳	一般財源	8,443	9,911	4,145
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		25.0	29.2	
	利用数一単位あたり(単位:円)		11,471.5	14,260.8	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	電話相談者数	単年度相談者数		529	465	
		カウンセリング相談者数	単年度相談者数		130	153	
		法律相談者数	単年度相談者数		44	45	
成果分析	相談者の満足度	カウンセリングや何でもききます相談を利用した人への調査「整理ができた」	目標値	85	85		
			実績	88			
			% 達成率	103.5			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	○電話相談等が多くある中で、相談者に対してより良い援助を継続して提供するため、相談員同士だけでなく関係各課との連携を図るとともに、情報の共有を図っていく。○相談内容を通して、女性の生き方に関する問題をより一層認識し、多くの市民に講座を通して理解いただくことを今後の講座にも反映させていく。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	女性の生き方に関する講座	連続して開催する	7月
		相談員の資質の向上	相談員との情報交換会議の開催及び最新の情報提供	随時(年度末まで)
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	今後も、相談者により良い援助を継続して提供していくよう努めていくとともに、相談員との情報の共有を図り、相談員の資質の向上に努める。また、相談者や現代社会の問題課題等に則した講座を企画・実施し、さらに総合的な相談事業の展開を図っていく。		
	評価日	平成20年5月12日	記入者職氏名 男女共同参画推進担当主幹 伴野 清美	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	評価理由	評価日
年度用事前評価	部内優先順位...	位
	見込まれる貢献度	非常に高い 高い やや低い 低い
評価理由	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	施策の体系			
	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	1215
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
	施策の方向	1健全な家庭づくり		